



鳥取県

DATA 【人 口】 530,469人 (R6.12.1現在)
【面 積】 3,507平方キロメートル
【職員数】 4,375人 (R6.4.1現在)

《発表のテーマ》 契約関係書類の電子送付・電子受付の実現

<発表概要>

事業者から提出される契約関係書類について、
電子ファイルでの送受信を可能とした。
事業者と県双方の業務負担軽減を図った。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

事業者向け説明会を複数回行うなど、事業者と連携をとりながら取り組んだ。
既存の電子申請サービス（とっとり電子申請サービス）を活用し、
ゼロ経費でスピーディーに改善を達成！
令和7年度には全県展開を予定しており、さらなるカイゼン効果が期待される！

<メッセージ・意気込み>

改善に協力してくださった関係各所の皆さまへの感謝の気持ちを胸に、発表させていただきます。
他自治体の参考になりましたら幸いです。



部署名	鳥取県鳥取県土整備事務所 建設総務課
タイトル	契約関係書類の電子送付 ・ 電子受付の実現
改善前 【Before】	<p>令和5年度から、全庁で電子契約システムを導入 電子契約が可能に</p> <p>↓しかしながら…</p> <p>契約に付随する「工事工程表」や「主任技術者等選任通知書」などの書類は、依然として持参によるやりとり</p> <p>➡電子契約に移行したメリットが十分に活かされていない</p>

改善前 【Before】



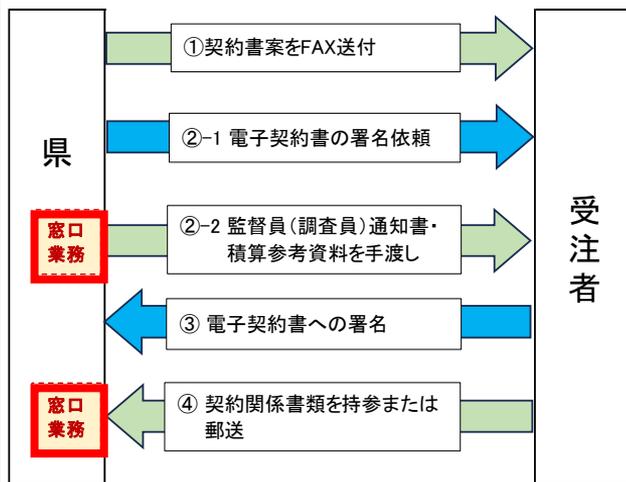
県

契約が集中する繁忙期は、特に窓口が混雑。
職員が対応に追われていた。

書類提出のために開庁時間内に来所する必要



受注者



⇄ 紙媒体
⇄ 電子契約サービス(ワンサイン)



取組内容

①既存の「とっとり電子申請サービス」を活用
➡コストをかけることなく、申請フォームを作成

既存のシステム



職員の知恵・工夫

<工事又は委託>契約保証 (西日本建設業保証 (株) (電子証書に係る認証キーのお知らせなど)) を添付してください。

※西日本建設業保証 (株) のうち、電子証書の場合は「認証キーのお知らせ」、現金納付書は領収証書の写し、これ以外の紙の証書は、原本が必要ですので郵送等お願いします。
※契約日までに
※保証会社から届いたpdfデータをそのまま添付してください。(コピーし直す等不可)。

<工事又は委託>工程表を添付してください。

※契約締結の日から7日以内

<工事のみ>主任技術者等選任通知書を添付してください。

※1 資格証明書の写し、又は実務経験証明書の写し、2 雇用実績確認書類 (健康保険証の写しなど) も添付してください。
※健康保険被保険者証の写しを提出する際には、被保険者証記号・番号等にマスキングを施してください。
※着手日までに

- 専用のメールフォルダ新設
⇒申請を自動集約可能に
- 職員間でメール確認を分担
⇒確実に電子受付可能に

② “トリセツ” 付き操作マニュアルの作成
➡受注者も県も利用しやすく

別添

契約関係書類電子授受に係る
とっとり電子申請サービス操作マニュアル (受注者用)

1 とっとり電子申請サービスから業務名等の基本情報を送信する ※落札決定後速やかに
 とっとり電子申請サービスを開く

契約関係書類電子授受に係る

とっとり電子申請サービス操作マニュアル (発注者用)

1 落札決定後、受注者が申し込みを完了したら

取組内容

③関係各所と連携し、試行錯誤

関係団体(鳥取県東部建設業協会、鳥取県測量設計業協会)に協力を仰ぎながら、試行を重ねた



関係団体へは、
試行状況の報告や
アンケートを実施し、意見交換



効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

受注者と県（発注者）双方のペーパーレス化につながるほか、業務効率も大幅にアップ！



- ・ 窓口業務の削減➡デスクワークの作業効率が向上
- ・ F A X送付削減➡誤送信や送信時のダブルチェック体制の解消

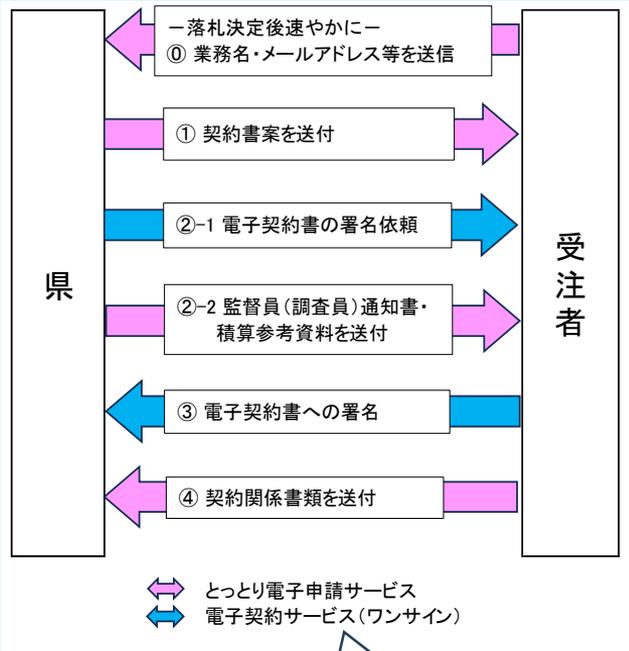


- ・ 事務所（県）への移動時間が不要に
- ・ 開庁時間外でも書類提出ができ利便性が向上

11月から他の県土整備局でも同様の仕組みを試行を開始
全県展開による受発注者の業務改善がさらに期待される

効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)



全てオンライン上で
やりとり可能に！

通常業務に専念できて、
仕事の効率が大幅アップ！

